

# 発言通告書（質問）

次のとおり、（1. 一般質問） 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問）の通告をいたします。

平成 27年 6月 日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池智明 印

受付 No. ....  
平成 年 月 日  
午(前・後) 時 分  
受理者

( 小池智明議員 3- 1 )

発言項目	選挙権年齢 18 歳引き下げに伴う富士市及び富士市立高校の取組みについて	
	要 旨 （具体的に記入してください）	答弁を求める者
	<p>我々市議会議員は、4月の選挙を経て 32 名が選出された。 どの議員にとっても厳しい選挙であったが、投票率は 48.37%と過去最低を更新し、依然として低迷している。 一方国では、選挙権年齢を現行の「20 歳以上」から「18 歳以上」に引き下げる公選法改正案が今国会で審議・成立の見込みであり、来年夏の参議院選挙から導入される見通しとなっている。 これは、世界的には 90%以上の国や地域が 18 歳選挙権を導入していることを背景に、これからの社会を担うより多くの若い世代が政治に参加し、その意見を政策に反映させることを目的としているとされる。 こうした中、以下について質問する。</p> <p>1 一昨年の富士市長選挙、今回の富士市議会議員選挙における世代別の投票率はどのような結果か</p> <p>2 今後、若年層への啓発をどのように進めるのか</p> <p>3 これまで市内中学校（公民等）、富士市立高校（公民、探求学習等）で、選挙権年齢引き下げをテーマとする授業や生徒間でのディベートに取り組んだことはあるか</p> <p>4 今後、富士市立高校での取組みはどのように進めるのか</p>	市長、教育長 及び担当部長

発言項目	富士市が目指すコンパクトシティと立地適正化計画について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>地方の人口減少・超高齢化問題が大きな課題だとして、国では昨年から地方創生本部を立上げ、様々な施策に取り組んでいる。</p> <p>富士市でも近年の人口減少傾向は予想以上に大きく、議会でも「都市活力再生ビジョン」の進行管理等において複数の議員から質疑・提案が行われている。</p> <p>人口問題を、「富士市という器」、「物理的な市域の土地の利用の仕方」という面から見た時、市全体、そして各地区にさまざまな問題・課題が顕在化していくことが予想される。</p> <p>そうした中で、「コンパクトシティ」が今後のまちづくりのキーワードとなって久しい。</p> <p>増加する人口に対応するため、新たな市街地を郊外に求め、市街地が低密度に拡散したこれまでの「拡大・分散型のまちづくり」から、鉄道やバスなどの公共交通の結節点に都市機能を集約して人口密度を高め、互いに連携する「集約・連携型のまちづくり」に大きく方向転換していこうという考え方である。</p> <p>既に第五次富士市総合計画（目標年次平成 32 年）、富士市都市計画マスタープラン（目標年次平成 45 年頃）でも、この考え方が明示されている。</p> <p>しかしながら、この「コンパクトシティ」については、全市民的なイメージの共有がなされているとは言えず、またその進め方についても明確になっていない。</p> <p>改めて富士市が目指すコンパクトシティの姿と、それに向けた進め方について質問する。</p> <p><b>1 富士市の土地利用と人口について</b></p> <p>(1) 全国平均、県内平均、静岡市、富士宮市、沼津市、三島市と比較すると、富士市のD I D（人口集中地区）人口密度、市街化区域内の未利用地率はどの程度か</p> <p>(2) これまでに地区別の将来人口予測を行っているか。行っているのなら、どのような推計方法で、何年先まで行っているか</p>	<p>市長及び担当部長</p>

<p>2 今後、現状のまま人口減少が進んだ場合、</p> <p>(1) 市民にとって地域生活における課題はどんなことが想定されるか</p> <p>(2) 積極的に都市基盤整備、公共施設整備を進めてきた中、都市経営上の課題はどんなことが想定されるか</p> <p>3 市長が今後必要と考える「コンパクトなまちづくり」、「集約・連携型のまちづくり」とはどのようなものか</p> <p>4 本年度から調査・策定する「岳南都市圏総合都市交通体系調査」の策定スケジュールと計画の基本的な考え方、特にコンパクトなまちづくりとの関連はどう考えているか</p> <p>5 公共施設マネジメントに関し、本年度から策定する「公共施設再編計画」と「再編モデル事業」の取組みは、どのように進めるのか</p> <p>6 改正都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画制度」について</p> <p>(1) 立地適正化計画制度の概要はどのようなものか</p> <p>(2) 富士市が目指す「コンパクトなまちづくり」、「集約・連携型のまちづくり」を進める上で、この制度をどう評価するか</p> <p>(3) 立地適正化計画策定及びその活用に取り組む考えはないか</p>	
--	--